

# RCC FORUM

No. 31



山崎和明氏  
(やまさき・かずあき)

1953年大阪生まれ。1975年よりボンヘッファーと教会闘争研究のため大阪市立大学法学研究科進学、1976/77年ミュンヘン大学、1982/83年ボン大学、1989/90年ハイデルベルク大学に留学。バートゲ夫妻著『D. ボンヘッファー』、ファイル著『D. ボンヘッファーの神学』、テート著『ヒトラー政権の共犯者、犠牲者、反対者』の共訳、単著としては『D. ボンヘッファーの政治思想』がある。

# D. ボンヘッファーの 平和思想

## 山崎 和明 氏

四国学院大学教授(法学博士)

●日時:2006年5月30日(火)

15:10~16:50

●会場:関西学院大学

上ヶ原キャンパス法学部チャペル

—どなたでも聴講できます—

### 講演内容

本年は、D. ボンヘッファー(1906-45)生誕100年にあたる。神学者・牧師の彼は、第二次世界大戦が勃発した1939年まで非暴力的平和主義者であった。しかし'40年には、それまで愛敵思想を説教し実践していた彼が、反ナチ政治的抵抗運動に乗り出す。'44年7月20日、最後にして最大の反乱、ヒトラー暗殺・クーデタは失敗し、仲間たちは逮捕・処刑された。計画の途上で逮捕されていた彼も、ほぼ2年の獄中生活の後'45年4月9日に処刑された。

彼の非暴力的平和主義とは何か、殺人や暴力を許容する政治的実力抵抗と矛盾しないか、また現代日本にどのような意味があるかを明らかにしたい。